JOGMEC

ショート・コメント

チリLNG市場の登場
（アジア太平洋LNGへの影響）

2005/8/10

調査部

坂本　茂樹

独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

JOGMEC

要点

- チリ、LNG輸入の入札実施（8月末、210万t）
- 増加する天然ガス需要をアルゼンチンからの輸入に頼って きたが、同国の供給余力に限界
- 周辺諸国にも供給力無し（ボリビア等）
- LNG供給元候補の中で

⇒ ペルー、アフリカは北米、欧州志向

⇒インドネシアは供給可能な事業計画が未定

➔2008年以降に供給力の拡充する豪州LNGが最も可能性高い

JOGMEC

チリのLNG入札の概要

- 2005年8月26日実施、年末～落札者発表
- コンソ-シアム：ENAP（チリ石油公社）、Endesa(発電事業)、Metrogas(ガス供給)
- 受入基地：チリ中部クィンテロ港（Quintero）
- 購入量：　800万mcm/d（=約210万トン／年）
- 操業開始：2008～2009年
- LNG受入基地建設投資額：約3億米ドル

JOGMEC

チリおよび周辺諸国のガスPL

JOGMEC

チリの天然ガス需給

- 2003年以降、経済好調でガス需要が増加
- 増えるガス需要をアルゼンチンからの輸入で対処（依存率＝80～90%）

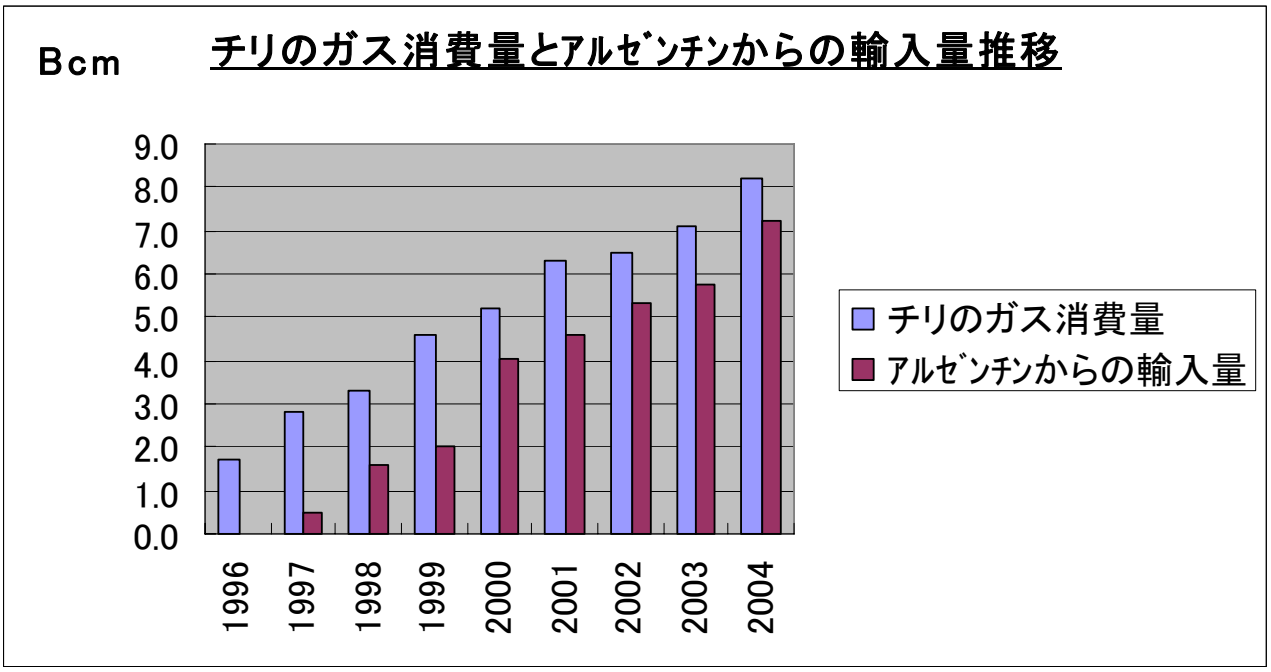
⇒アルゼンチンは自国のガス消費増加により、チリに対して供給削減を実施（2004年4月～）

⇒チリはｱﾙｾﾞﾝﾁﾝ以外の輸入先を求めるも、近隣諸国供給力に期待できず（ボリビア、ﾍﾟﾙｰ）

➔LNG輸入を決定

JOGMEC

チリのガス消費量とアルゼンチンからの輸入量推移（BP統計）



JOGMEC

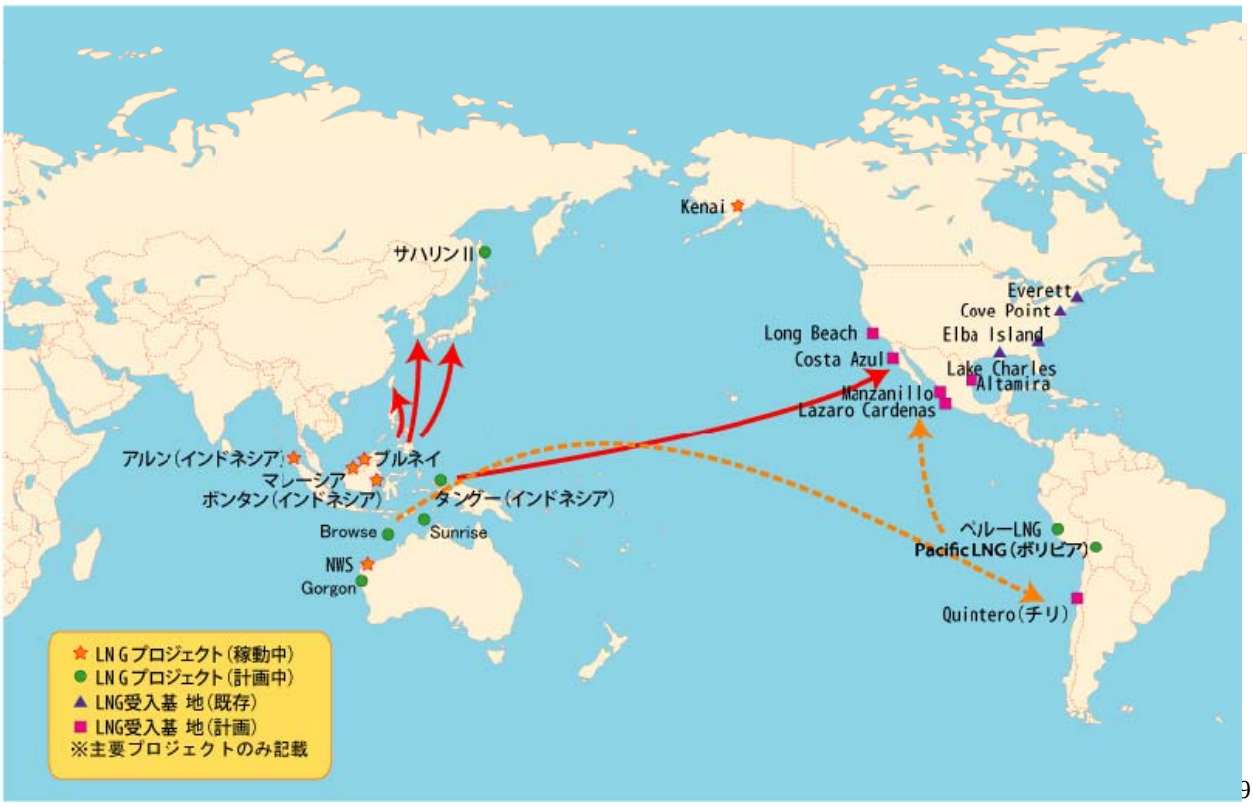
LNG輸入先候補の状況

- ペルーLNG（420万t）ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ＝Hunt社：
  2009年から北米西岸へ輸出する計画
- アフリカ（アルジェリア、ナイジェリア等）：
  欧米の大西洋市場志向
- インドネシア：興味を示すも、供給可能な事業見通し不明（タングー第3ﾄﾚｰﾝ建設？）
- 豪州LNG：2008年から次々と新規事業立ち上げで、供給力拡充　➔　最も可能性が高い

JOGMEC

豪州の新規LNG事業計画

事業者名	能力（万t/年）	操業開始年	オペレーター
NWS No.5	420	2008年	Woodside
G. Gorgon	1,000	2009～10年	Chevron
G. Sunrise	530	2010年	Woodside
Browse	？	2011～14年	Woodside

JOGMEC

アジア太平洋LNGにチリ市場登場の可能性